



認知症の人が住み慣れた地域で暮らすために

- 認知症の人が、地域で安心して、尊厳をもって暮らしていけるよう、また、身体疾患を併せ持つ場合も、在宅・施設、医療機関等で、個別性に応じた適切な支援を受け療養できるよう、看護職の職能団体として取り組んでいる。
- 具体的には、医療機関・在宅領域の看護職の質の向上を目指した教育・研修、専門性の高い看護師の育成、周知・啓発である。【詳細はスライド2,3参照】
- また、令和5年度より、精神保健医療福祉領域における看護機能の強化の検討を開始し、特に認知症者に対する精神科看護の機能強化に向けて、現状と課題について情報収集を行い、看護提供体制の検討に取り組んでいる。

生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

日本看護協会の主な取り組み

医療機関の看護職における認知症対応力向上の取り組み

研修プログラム「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」の提供

- 診療報酬の認知症ケア加算 2 及び 3 の「認知症患者のアセスメントや看護方法等に係る適切な研修」に該当
- 日本看護協会が研修DVDを収録・制作し、全国の都道府県看護協会で12時間（2日間）の講義・演習を実施
- 2023年度開催状況
開催場所：39道府県協会　開催回数：68回　総修了者数：6,300名

在宅・介護領域の看護職における認知症対応力向上の取り組み

厚生労働省「高齢者権利擁護等推進事業」による「介護施設等における看護指導者養成研修」の実施

- 「高齢者権利擁護等推進事業」の一環として、「介護施設等における看護指導者養成研修」（2日間）を厚生労働省老健局からの事業協力依頼を受け、2005年より実施（受講者は都道府県から推薦）
- 「認知症高齢者の理解と看護」等、高齢者の尊厳の保持・権利擁護に必要な援助等を行うための専門的知識・技術を習得し、都道府県で研修の企画・立案や講師として活躍する看護指導者を養成する
- 2023年度までの総修了者数：1,850名

[世界アルツハイマーデー・月間]

- 毎年9月21日の「世界アルツハイマーデー」を含む10日間程度、認知症の啓発のためにポスターを掲示し、日本看護協会の建物を認知症支援のシンボルカラーであるオレンジでライトアップ（2023年度は9/20-29まで実施）

日本看護協会の主な取り組み

認知症看護に関する専門性の高い看護師の養成

認知症看護認定看護師、老人看護専門看護師、精神看護専門看護師の資格認定

- 認知症看護認定看護師 2,316名、老人看護専門看護師 268名、精神看護専門看護師 436名（2023年12月現在）
- 診療報酬 認知症ケア加算1の「専任の常勤看護師」の要件（専任の認知症患者看護経験5年以上かつ認知症看護の研修600時間以上を修了）の研修要件に該当

2020年より、認定看護師教育に特定行為研修を組み込んだ教育プログラム（B課程）を開始。医師があらかじめ作成した手順書（指示）によって、看護師がタイムリーに必要なケアを提供できるよう取り組んでいる。

認知症看護認定看護師数 全国2,316名（2023年12月時点）

